Panasonic

システムコントローラー
取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-CU161C

上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に
商品概要 2
機能概要 2
付属品をご確認ください 2
もくじ 3
安全上のご注意 5
操作上のお願い 7

操作
各部の名前と働き 8
基本操作 11
カメラ・レンズの操作 12
カメラハウジング、外部機器の操作 18
アラームの確認と解除 20

設定
設定のしかた 22
プリセットデータのダウンロード/アップロード 30
カメラの設定 35

工事
工事説明 38
各部の名前と働き（後面） 38
接続のしかた 39
ラックマウントのしかた 43
仕様 45
保証とアフターサービス（よくお読みください） 47

保証書別添付

このたびは、システムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商 品 概 要

- プリセット式コンビネーションカメラ(カメラ・水平垂直回転台一体型のカメラ)やレシーバーなどのカメラ側機器を1対1で制御することができます。
- 次の方法でカメラを制御することができます。
  ・映像信号に制御信号を重畳してカメラを制御
  ・RS-485通信を使用してカメラを制御※1
- アラーム入出力端子を内蔵しています。この端子で次のような操作を行うことができます。
  ・アラーム出力端子を使用して、カメラのモーションディテクタ機能などのアラーム信号を外部に出力する。
  ・アラーム入力に連動して、カメラのプリセットポジションを切り換える。
- コンビネーションカメラ（WV-CS850Aシリーズなど）のプリセットデータを本機内部のメモリーに保存すること（ダウンロード）ができます。また、保存した情報をプリセット式コンビネーションカメラに送ること（アップロード）ができます。ダウンロード／アップロードできる機種については販売店にお問い合わせください。

機 能 概 要

以下に示すカメラ側機器※2の機能をリモートコントロールできます※3。

- プリセット画面の操作(選択、登録)
- 回転台の操作(手動操作、自動操作)
- 電動ズームレンズの操作(フォーカス、ズーム、アイリスの調節)
- オートフォーカスの操作(起動)
- ハウジングの操作(ワイパー、デフロスターの電源のOn/Off)
- 外部機器の制御(ライトや電気錠などの電源のOn/Off)
- カメラの設定
- 白黒↔カラー切り換え
- カメラパトロール（記録、再生、停止）
- アラーム解除、抑止

注　音声信号を制御する機能はありません。レシーバーにオーディオボードを取り付けても音声通信はできません。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....1
保証書.....1

※1　RS485のディジーチェーン接続はできません。
※2　本機を複数台設置し、複数箇所から1台のカメラを制御することはできません。
※3　接続できる機器は、販売店におたずねになるか、「Panasonic 業務用AVシステム　総合カタログ」をお読みください。リモートコントロールできる機能については、各カメラの取扱説明書をお読みください。

もくじ

商品概要 ……2

機能概要 ……2

付属品をご確認ください ……2

もくじ ……3

安全上のご注意 ……5

操作上のお願い ……7

各部の名前と働き ……8

前面 ……8

後面 ……8

基本操作 ……11

電源のON／OFF ……11

カメラ・レンズの操作 ……12

パン・チルトの操作 ……12

フォーカス（ピント）の調節 ……12

ズームの調節 ……13

アイリス（絞り）の調節 ……13

コンビネーションカメラ固有機能の操作 ……14

●プリセットポジションによる映像の切り換え ……14

●ホームポジションへの映像の切り換え ……14

●オートパンによる映像の切り換え ……15

●カメラパトロール機能の映像の操作 ……15

●カラー映像↔白黒映像切り換え ……16

●カメラ機能の実行 ……17

カメラハウジング、外部機器の操作 ……18

●ワイパーの操作 ……18

●デフロスターの操作 ……18

外部機器の操作 ……19

アラームの確認と解除 ……20

アラームの種類 ……20

アラーム発生時の動作 ……20

アラームの解除 ……21

●自動解除 ……21

●手動解除 ……21

アラームの抑止 ……21

設定のしかた ・・・

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない

禁　止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない

禁　止

落下などでけがの原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- 乾いた布で手をふいてください。

次ページへ続く

⚠警告

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

⚠注意

落とさない、強い衝撃を与えない

禁　止

けがや火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁　止

火災や感電の原因となります。

操作上のお願い

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●直射日光の当たる場所での使用は避けてください。

高温下での使用は避けてください。

●ていねいにお取り扱いください。

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲をお守りください。

－10℃以下の寒いところや、＋50℃以上の暑いところで使用しないでください。

●電源スイッチについて

本機の電源スイッチは電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。
電源を遮断する場合、AC コンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

●厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。

●お手入れについて

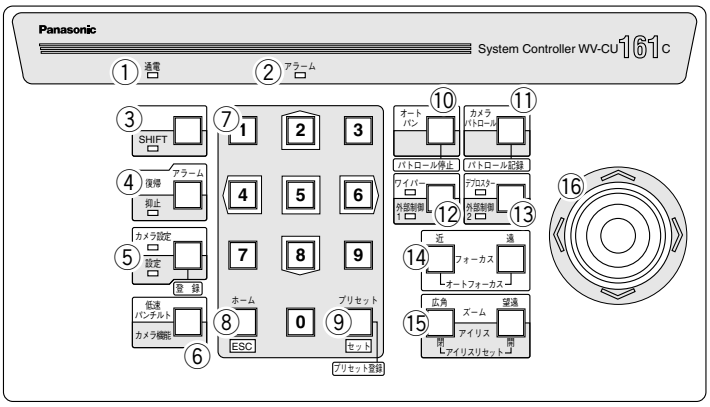
電源プラグを電源コンセントから抜いてか乾いた布でふいてください。
ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。

●表示について

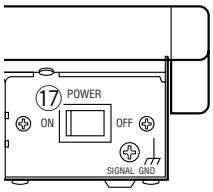
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

各部の名前と働き

前面



後面



※上記以外については38ページをお読みください。

①通電表示［通電］
電源が入ると点灯します。

②アラーム表示［アラーム］
アラームが発生すると点滅します。
アラームが自動的に解除されると点灯に変わります。

③SHIFTボタン［SHIFT］
SHIFTボタンは　　部の機能を操作するときに使います。SHIFTボタン設定中はボタン名の下にある表示灯が点灯します。

④アラーム復帰ボタン／アラーム抑止ボタン
［アラーム復帰／アラーム抑止］

- アラーム復帰ボタン
  アラームを手動で解除するときに使います。
- アラーム抑止ボタン
  アラームの入力を抑止するときに使います。アラーム入力の抑止中はボタン名の下にある表示灯が点灯します。

⑤カメラ設定ボタン／設定ボタン／登録ボタン［カメラ設定／設定／登録］

- カメラ設定ボタン
  カメラを設定するときに使います。設定中は、ボタン名の下にある表示灯が点灯します。
- 設定ボタン
  本機を設定するときに使います。設定中は、ボタン名の下にある表示灯が点灯します。

- 登録ボタン
  コンビネーションカメラに、次の情報を登録するときに使います。
  ・プリセットデータ
  ・カメラパトロール情報

⑥低速パンチルトボタン／カメラ機能 ボタン［低速パンチルト／カメラ機能 ］

- 低速パンチルトボタン
  コンビネーションカメラまたは回転台のパン・チルトの動作速度を低速にします。
- カメラ機能 ボタン
  ショートカット操作でカメラの機能を実行するときに使います。使用できるショートカットはカメラによって異なります。ショートカット操作については、ご使用になるカメラの取扱説明書をお読みください。

⑦テンキー
プリセット番号の入力またはカメラの設定画面で項目を選択するときに使います。

⑧ホームボタン／ESC ボタン［ホーム／ESC ］

- ホームボタン
  コンビネーションカメラの撮影位置をホームポジションに戻すときに使います。
- ESC ボタン
  カメラまたは本機を設定している場合、上層の画面に戻るときに使います。

⑨プリセットボタン／セット ボタン／プリセット登録 ボタン
［プリセット／セット ／プリセット登録 ］

- プリセットボタン
  コンビネーションカメラの撮影位置を指定した番号のプリセットポジションに切り換えるときに使います。
- セット ボタン
  カメラまたは本機を設定している場合、選択内容を決定したり、下層の設定メニューに切り換えたりするときに使います。
- プリセット登録 ボタン
  コンビネーションカメラに、現在表示しているカメラの位置を登録するときに使います。

⑩オートパンボタン／白黒切換 ボタン／パトロール停止 ボタン
［オートパン／白黒切換 ／パトロール停止 ］

- オートパンボタン
  コンビネーションカメラのオートパン機能を実行するときに使います。
- 白黒切換 ボタン
  カメラ映像をカラー←→白黒に切り換えるときに使います。

次ページへ続く

- パトロール停止 ボタン
  コンビネーションカメラのカメラパトロール動作の記録を停止するときに使います。

⑪カメラパトロールボタン／パトロール記録 ボタン［カメラパトロール／パトロール記録］

- カメラパトロールボタン
  コンビネーションカメラのカメラパトロール機能を実行するときに使います。
- パトロール記録 ボタン
  コンビネーションカメラに手動で操作した内容を記録するときに使います。

⑫ワイパーボタン／外部制御1 ボタン［ワイパー／外部制御1］

- ワイパーボタン
  カメラハウジングのワイパーをON／OFFするときに使います。ワイパーがONのときはボタン名の下にある表示灯が点灯します。
- 外部制御1 ボタン
  外部制御1機器をON／OFFにするときに使います。外部制御1機器がONのときはボタン名の下にある表示灯が点灯します。

⑬デフロスターボタン／外部制御2 ボタン［デフロスター／外部制御2］

- デフロスターボタン
  カメラハウジングのデフロスターをON／OFFにするときに使います。デフロスターがONのときはボタン名の下にある表示灯が点灯します。
- 外部制御2 ボタン
  外部制御2機器をON／OFFにするときに使います。外部制御2機器がONのときはボタン名の下にある表示灯が点灯します。

⑭フォーカスボタン［フォーカス　近／遠］
カメラのピントを調節するときに使います。近／遠ボタンを同時に押すとカメラのオートフォーカス機能を使用することができます。

⑮ズームボタン／アイリスボタン［ズーム　広角／望遠］／［アイリス　閉／開］

- ズームボタン
  カメラのズームを調節するときに使います。
- アイリスボタン
  カメラの絞りを調節するときに使います。閉／開ボタンを同時に1秒以上押すと、カメラの絞りをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

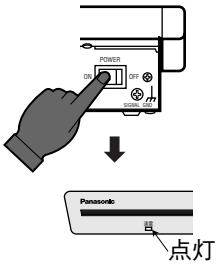
⑯ジョイスティック［上／下／左／右］
コンビネーションカメラや回転台をパン／チルトするときに使います。

⑰電源スイッチ
電源スイッチは本機後面にあります。電源の入／切を行うときに使います。

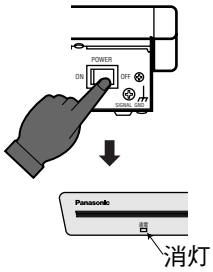
基本操作

電源のON／OFF

電源ON



電源OFF



1 モニターやVTRなどの電源スイッチを「ON 」にする。

2 電源スイッチ ON POWER OFF を「ON」にする。

通電表示が点灯し、カメラの映像がモニターに表示されます。

3 必要な操作を開始する。

各機能の操作のしかたは次ページ以降をお読みください。

4 操作が終了したら電源スイッチ ON POWER OFF を「OFF」にする。

通電表示が消灯します。

5 モニターやVTRなどの電源スイッチをOFFにします。

長期間使用しないときは

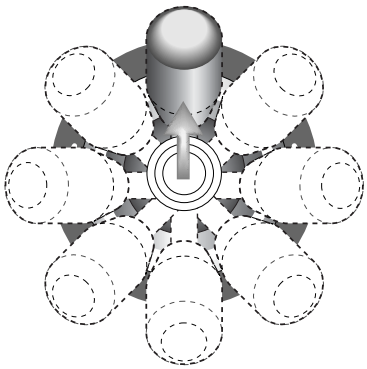
電源を「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

カメラ・レンズの操作

ここではカメラの操作のしかたについて説明します。使用するカメラによっては操作を始める前に設定が必要な場合があります。設定のしかたについてはカメラの取扱説明書をお読みください。また、システム運用中に本機からカメラのメニューを呼び出し、設定することもできます。詳しくは35～37ページをお読みください。

パン・チルトの操作

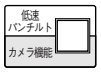
回転台またはコンビネーションカメラが本機に接続されている場合、操作できます。



ジョイスティック

1 **ジョイスティックを動かし、カメラ（または回転台）を旋回する。**

ジョイスティックでカメラを動かすことができます。



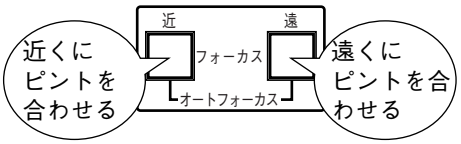
を押しながらジョイスティックを動かすと、ボタンを押し続けている間、旋回動作が低速になります。

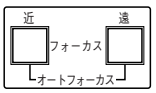
なお、使用するカメラまたは回転台によっては、

を使用できないことがあります。

フォーカス（ピント）の調節

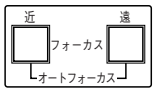
カメラにピントを調節できるレンズが取り付けられている場合、操作できます。



1 

でピントを調節する。

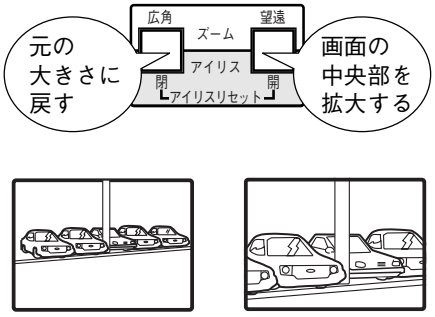
オートフォーカスでピントを合わせるには

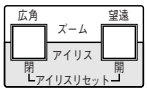
オートフォーカスは画面の中央にある被写体にピントを合わせます。
オートフォーカスにするには 

を同時に押します。

ズームの調節

カメラに電動ズームレンズが取り付けられている場合、操作できます。



1 

でズームを操作する。

なお、倍率はカメラに取り付けられているレンズによって異なります。

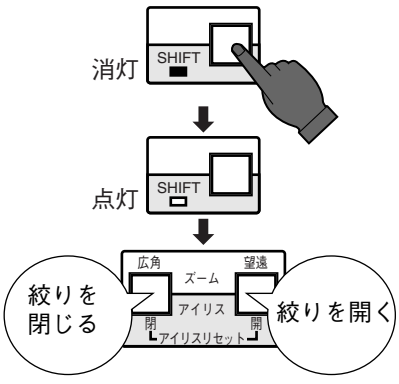
操作を行う前に

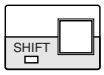
-

の設定は解除してください。

アイリス（絞り）の調節

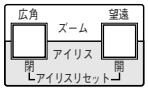
カメラに絞り調節可能なレンズが取り付けられている場合、操作できます。



1 

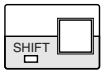
を設定する。

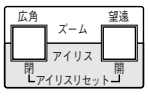
ボタンの左側にある表示灯が点灯します。

2 

で絞りを調節する。

絞りを元の状態に戻すには

アイリスをお買い上げ時の状態に戻すときは 

設定後、 

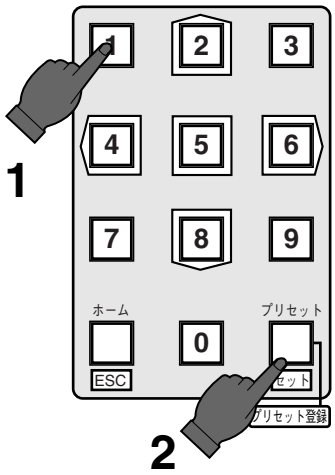
を同時に1秒程度押し続けてください。

コンビネーションカメラ固有機能の操作

ここではコンビネーションカメラ固有機能の操作のしかたについて説明します。操作を始める前にコンビネーションカメラの設定が完了している必要があります。設定のしかたについてはコンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。また、本機からコンビネーションカメラを設定することもできます。詳しくは35～37ページをお読みください。

●プリセットポジションによる映像の切り換え

プリセット機能とは監視場所に番号を付けてカメラに登録しておくことによって、システムコントローラーから登録した番号を入力するだけで番号に対応した位置にカメラを旋回する機能です。この操作を行うためには、あらかじめプリセットポジションをコンビネーションカメラに登録しておく必要があります。



プリセット番号1を選択する例

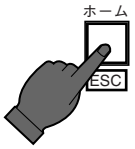
1 テンキーでプリセット番号を入力する。

2 プリセット／セット を押す。

登録されているプリセットポジションにカメラが動作し、その位置の映像がモニターに表示されます。

●ホームポジションへの映像の切り換え

ホームポジションとは監視時に基点となるプリセットポジションのことです。この操作を行うためには、あらかじめホームポジションにするプリセットポジションをコンビネーションカメラに登録しておく必要があります。



1 ホーム／ESC を押す。

登録されているホームポジションにカメラが動作し、その位置の映像がモニターに表示されます。

●オートパンによる映像の切り換え

あらかじめ、オートパン機能をコンビネーションカメラに設定しておく必要があります。コンビネーションカメラに登録されている内容に従って自動的に旋回動作を行います。

操作を行う前に

- SHIFT の設定は解除してください。

1 オート パン / 白黒切換 / パトロール停止 を押す。

コンビネーションカメラに登録されている内容に従って自動的に旋回し、映像をモニターに表示します。

ジョイスティックでパン・チルト操作を行うとオートパンを終了します。テンキーとの組み合わせで他の機能を実行できます。

テンキーとオートパンボタンとの組み合わせで実行できる機能

使用するコンビネーションカメラによっては次の機能を実行できます。各機能の詳細はカメラの取扱説明書をお読みください。

- 1 を押してから オート パン / 白黒切換 / パトロール停止 →オートパン（またはカメラで設定した機能）
- 2 を押してから オート パン / 白黒切換 / パトロール停止 →オートソート
- 3 を押してから オート パン / 白黒切換 / パトロール停止 →オートシーケンス
- 4 を押してから オート パン / 白黒切換 / パトロール停止 →ランダムパン

●カメラパトロール機能の操作

カメラパトロールとは、ジョイスティックやズーム操作などの操作内容をコンビネーションカメラに記憶させ、実行する機能です。この機能はカメラパトロール機能のあるコンビネーションカメラが接続されている場合、操作できます。

カメラパトロール開始

1 カメラ パトロール / パトロール記録 を押す。

コンビネーションカメラに記録されている内容に従ってカメラが動作し、映像がモニターに表示されます。

ジョイスティックを操作するとカメラパトロールは自動的に停止します。

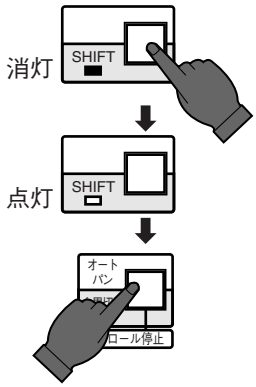
カメラパトロール動作の登録は

カメラパトロールの動作は、本機でコンビネーションカメラに覚えさせることができます。詳しくは36ページをお読みください。

次ページへ続く

●カラー映像↔白黒映像切り換え

カラー／白黒切換機能のあるコンビネーションカメラが接続されている場合、操作できます。暗い場所で撮影する場合、白黒映像に切り換えることによって感度を上げ、モニターの画像を見やすくできます。



1 SHIFT を設定後、オート パン 白黒切換 パトロール停止 を押す。

カラー映像が白黒で表示されます。

2 カラー映像に戻すときは SHIFT を設定後、オート パン 白黒切換 パトロール停止 を押す。

カラー映像に戻ります。

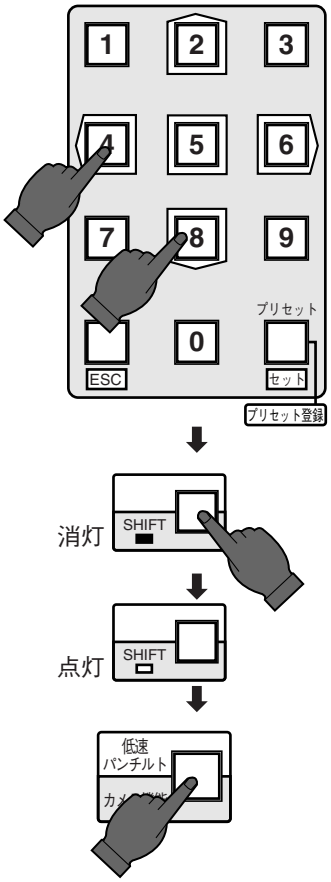
操作を行う前に

- カメラ側の白黒切換機能の設定がAUTOに設定されている場合、操作できません。本機で切り換えるときはカメラの設定を変更してください。
- カメラ側での白黒切換動作が完了していないときの操作は無効になります。

●カメラ機能の実行

コンビネーションカメラには、本機からカメラの機能（カメラ機能）を番号で呼び出して操作できる機種があります。ここではカメラ機能の基本的な実行方法について説明します。詳しくはお使いになるカメラの取扱説明書をお読みください。以下はカメラ機能の一例です。

- スーパーダイナミック2　ON（84）／OFF（85）
- 電子シャッター（SHUTTER）ON（171）／OFF（172）、
  電子シャッター速度の調節　増加（173）／減少（174）
- AGC（Auto Gain Control）ON（175）／OFF（176）
- 電子感度アップ（電子感度アップ）ON（177）／OFF（178）
- 電子感度の調節　増加（179）／減少（180）
- カメラリスタート（100）



1 カメラ機能番号をテンキーで入力する。

例えば、スーパーダイナミック2 ONが84番に割り当てられている場合、[8] [4] と入力します。

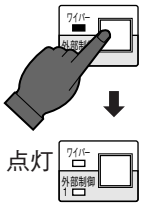
2 [SHIFT] を設定後、[低速パンチルト / カメラ機能] を押す。

入力した番号に対応したカメラ機能が動作します。

カメラハウジング、外部機器の操作

●ワイパーの操作

ワイパー付きのカメラハウジングが接続されている場合、操作できます。



1 ワイパー 外部制御1 を押す。

ボタン名の下にある表示灯が点灯し、ワイパーが動作します。

2 ワイパーをOFFにするときは再度 ワイパー 外部制御1 を押す。

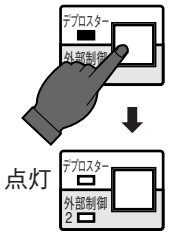
ワイパーがOFFになるとボタン名の下にある表示灯が消灯します。

操作を行う前に

SHIFT の設定は解除してください。

●デフロスターの操作

デフロスター付きのカメラハウジングが接続されている場合、操作できます。



1 デフロスター 外部制御2 を押す。

ボタン名の下にある表示灯が点灯し、デフロスターが動作します。

2 デフロスターをOFFにするときは再度 デフロスター 外部制御2 を押す。

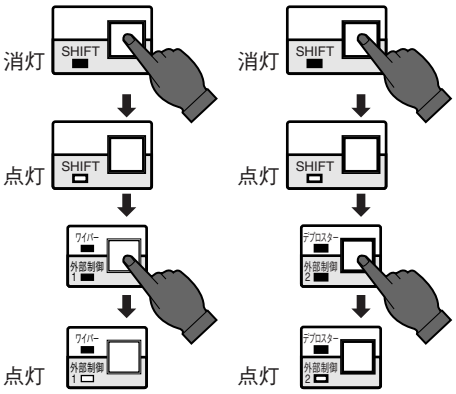
デフロスターがOFFになるとボタン名の下にある表示灯が消灯します。

操作を行う前に

SHIFT の設定は解除してください。

外部機器の操作

カメラやレシーバーなどに外部制御機器が接続されている場合、操作できます。



外部機器制御1　外部機器制御2

1

SHIFT を設定後、ワイパー 外部制御1 または デフロスター 外部制御2 を押す。

ボタンの左側にある表示灯が点灯し、割り当てられている外部機器が動作します。
外部機器の動作を終了するときはSHIFTを設定後、ワイパー 外部制御1 または デフロスター 外部制御2 を押します。

アラームの確認と解除

アラームの種類

本機は以下に示す2種類のアラームを入力できます。

- サイトアラーム
  監視カメラから送られてくるアラームです。
  ・DATAスイッチをCOAXに設定している場合、アラームは映像信号に多重されて送られてきます（同軸多重通信）。
  ・DATAスイッチをRS485に設定している場合、アラームはRS485ケーブルで送られてきます（RS485通信 ）。
- 外部機器（センサーなど）から送られてくるアラーム
  センサーなどの外部機器からのアラームは本機後面のアラーム入力端子に接続します。

アラーム発生時の動作

アラームが発生すると、本機は次の動作を自動的に行って、アラームが発生したことをお知らせします。

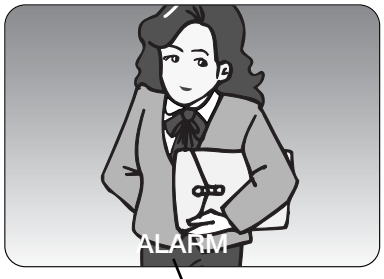
⑴モニターに文字（ALARM）を表示する。

⑵アラーム表示を点滅する（自動解除時は点灯）。

⑶アラームに対応したプリセットポジションに映像を切り換える。（本機にコンビネーションカメラを接続している場合）

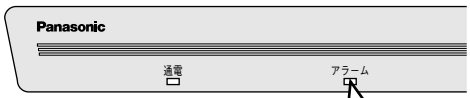
⑷アラーム信号を出力する。
アラームが自動解除または手動解除されるまで、本機に接続しているシステム機器にアラームを出力します。（アラームの解除については21ページをお読みください。）

⑴モニターに文字（ALARM）を表示してお知らせします。



文字表示
(ALARM DISPLAY : ON時)

⑵アラーム表示を点滅または点灯してお知らせします。



アラーム
点滅：アラームが発生しました。
点灯：アラームを自動または外部機器で解除しました。
消灯：アラームを手動で解除しました。

SETUP MENUで設定を変更できます。

- 文字（ALARM）をモニターに表示する／しないを選択できます。→26ページ
- ブザー音のON／OFFを選択ができます。→26ページ
- カメラやレシーバーの操作中にアラームが入力されてもカメラ側の操作をすることができます。

アラームの解除

アラームの解除のしかたには自動解除と手動解除があります。
アラームが解除されるとモニターに表示されている文字（ALARM）が消えます。また、後面のALARM端子からアラーム復帰信号が出力されます。

●自動解除

アラーム出力時間を設定している場合、設定時間を経過すると自動的に解除されます。
→26ページ
この場合、アラーム表示灯が点滅→点灯に変わります。アラーム表示灯を消灯させる場合は、手動解除の操作を行ってください。

●手動解除

1 を押す。

アラーム表示灯が消灯し、アラームが解除されます。

操作を行う前に

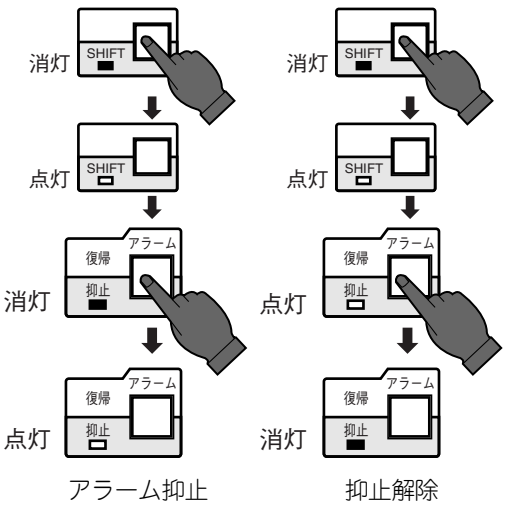
- の設定は解除してください。

外部機器による解除のしかた

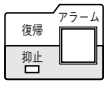
本機後面にあるALARM RECOVER IN端子にアラーム復帰信号（無電圧メイク接点）を入力して解除することもできます。この方法でアラームを解除すると、アラーム表示灯が点滅→点灯に変わります。アラーム表示灯を消灯させる場合は、手動解除の操作を行ってください。

アラームの抑止

カメラや本機の設定中などアラームを無視したいときに使用します。



1 を設定後、 を押す。

ボタン名の下にある表示灯が点灯し、アラーム抑止が設定されます。以後発生したアラームは無視されます。
アラームの抑止を解除するときは、再度 を設定後、  を押します。

設定のしかた

設定手順

本機の設定は次の手順で行います。

1. 電源スイッチをOFFにする。
2. DATAスイッチで本機←→カメラ間の通信方法を設定する。
3. ALARMスイッチでアラーム端子の使用方法を設定する。
4. 電源スイッチをONにする。
5. SETUP MENUを表示し、本機を設定する。

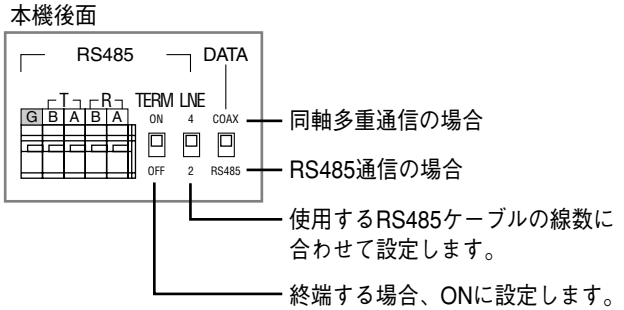
DATAスイッチの設定

コンビネーションカメラを本機に接続する場合、DATAスイッチで本機←→カメラ間の通信方法を設定します。TERMINALスイッチやLINEスイッチは必要に応じて設定します（詳細は38ページをご覧ください）。

本機←→カメラ間の通信を同軸多重通信で行う場合　：COAX

本機←→カメラ間の通信をRS485通信で行う場合　：RS485

本機後面



スイッチの設定は

各スイッチは、電源スイッチをOFFにしてから設定してください。
電源スイッチがONの状態で切り換えることはできません。

同軸多重通信とRS485の違い

- **同軸多重通信**
  同軸多重通信の場合、映像出力信号にコンビネーションカメラを操作するための制御信号を重畳します。このため、同軸ケーブル1本で本機←→カメラ間を接続できます。ただし、本機←→カメラ間の最大延長距離が、1.2kmまで（5C-2V)という制限があります。

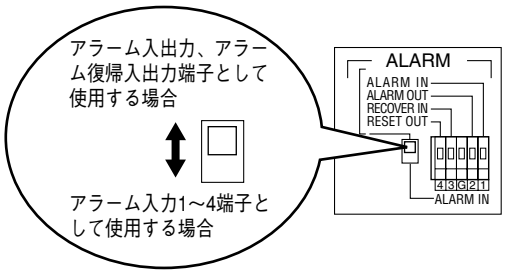
- **RS485通信**
  RS485通信の場合、映像信号とカメラを操作するための制御信号を分離して、カメラとの通信を行います。このため、コーデックなどの伝送機器を接続して1.2km以上の離れた場所からコンビネーションカメラを操作することができます。なお、最大延長距離はシステムの構成によって異なります。

ALARMスイッチの設定

ALARMスイッチは、ALARM端子の使いかたを次のように切り換える場合に使用します。

- **アラーム入出力およびアラーム復帰入出力端子として使用する場合**
  ALARMスイッチを上にセットします。主に次のような用途で使用する場合、この設定にします。
  ・タイムラプスVTRを接続する。
  ・外部機器にアラーム信号を送る。
  ・外部機器からアラームを解除する。

- **アラーム入力1～4端子として使用する場合**
  ALARMスイッチを下にセットします。この設定にすると、本機に4つまでのアラームを入力できます。コンビネーションカメラを本機に接続する場合、アラームに4か所のプリセットポジションを連動させることができます。



スイッチの設定は

ALARMスイッチは、電源スイッチをOFFにしてから設定してください。電源スイッチがONの状態で切り換えることはできません。

本機の設定

●SETUP MENUの概要

SETUP MENUで次の項目を設定できます。

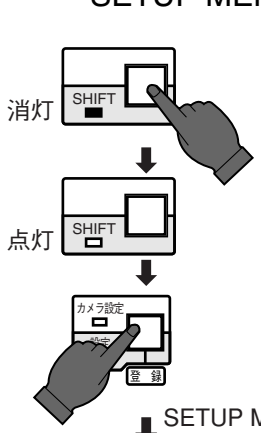
SETUP MENU

ALARM SETUP	アラーム信号を入力したときの動作を設定します。
SYSTEM SETUP	システムの基本動作を設定します。
PRESET DATA LOAD1～8	コンビネーションカメラに設定されているプリセットデータを本機にダウンロードします。または、ダウンロードしたプリセットデータをカメラにアップロードします。
COMMUNICATION	本機←→カメラの通信をRS485で行う場合、通信方法の詳細を設定します。本機←→カメラの通信を同軸多重で行う場合、この項目は表示されません。

設定のしかた

●基本操作

- SETUP MENU を表示する



SETUP MENUが表示される
まで押し続ける（約2秒）

1 SHIFT 設定後、SETUP MENUが表示されるまで カメラ設定 設定 登 録 を押し続ける。
設定している間、ボタン名の下にある表示灯が点灯します。

```
WV-CU161C SETUP MENU*.**

   ALARM SETUP "↓
   SYSTEM SETUP "↓
   PRESET DATA LOAD "↓
   COMMUNICATION "↓
```

- 設定項目を選択する

  設定項目は、ジョイスティックで選択できます。ジョイスティックを上または下に動かすとカーソル（反転表示）が移動し、選択している項目をお知らせします。

- サブメニューを表示する

  設定項目に"↓がある項目を選択後、セット プリセット登録 を押します。詳細を設定するメニュー（サブメニュー）が表示されます。
  SETUP MENUまたは前のメニューに戻るときは、ホーム ESC を押します。

- 設定内容を変更する

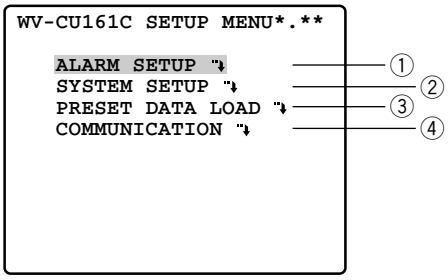
  設定内容は、変更したい項目にカーソルを移動した後、ジョイスティックを左または右に動かすと変更できます。

- 設定を終了する

  SETUP MENUが画面から消えるまで、カメラ設定 設定 登 録 を押し続けてください。設定内容が本機に保存されます（ボタン名の下にある表示灯が消灯します）。
  設定を終了する前に電源スイッチをOFFにすると、変更した内容がすべて無効になります（変更する前の状態に戻ります）。
  設定を変更した場合は、必ず設定を終了してから電源を切ってください。

●SETUP MENU

SETUP MENUから設定したい項目を選択します。選択後、設定ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます。



①ALARM SETUPメニューを表示します（26ページ）。
②SYSTEM SETUPメニューを表示します（27ページ）。
③PRESET DATA LOADメニューを表示します（28ページ）。
④COMMUNICATIONメニューを表示します（29ページ）。
このメニューは、本機←→カメラの通信をRS485で行う場合に表示されます。

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すには

- 次の手順で操作すると、設定した内容を初期化して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

① 電源スイッチをOFFにする。

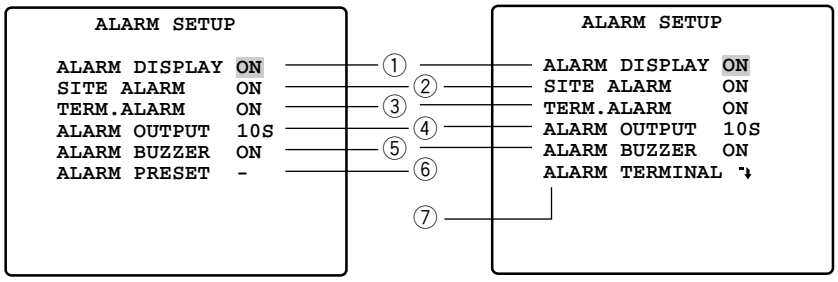
②

を同時に押しながら電源スイッチをONにする。

表示灯が全部点灯し、かつモニターに「ALL RESET」と表示されるまで押し続けてください。
表示されたらボタンから指をはなしてください。
数秒後、表示灯が消灯し、「ALL RESET」が消えます。

- 設定内容を初期化してもダウンロードしたプリセットデータは消去されません。

●ALARM SETUP メニュー



画面の表示は、工場出荷時の状態を表しています。

ALARM端子をアラーム入出力、復帰入出力端子として使用する場合

ALARM端子をアラーム入力端子として使用する場合

①アラームが発生した場合、モニターに文字（ALARM）を表示するかどうかを設定します。表示時間はALARM OUTPUTの項目で設定した時間となります。
ON　：文字（ALARM）を表示します。
OFF　：文字（ALARM）を表示しません。

②カメラからのアラーム 信号（カメラサイトアラーム）を有効にするかどうかを設定します。
ON　：有効にします。
OFF　：無効にします。

③ALARM端子にアラーム信号を入力するかどうかを設定します。
ON　：アラーム信号を入力します。
OFF　：アラーム信号を入力しません。

④アラームが発生した場合、アラーム動作を継続する時間を設定します。(設定時間は各アラーム動作で共通です。)
- モニターに文字（ALARM）を表示する時間（ALARM DISPLAY ON時）
- 外部機器にアラーム信号を出力する時間（ALARM OUT端子から出力）
- 本機に内蔵されているブザーを鳴らし続ける時間（ALARM BUZZER ON時）

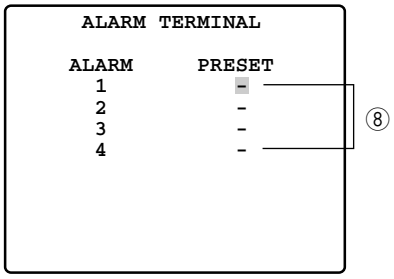
設定時間を経過すると、アラームは自動的に解除されます。
＜設定可能範囲＞1S～10S（1秒単位）、10S～50S（10秒単位）、1MIN～5MIN（1分単位）、EXT（外部機器でアラームを解除※）、OFF（アラーム動作を行いません）

⑤アラームが発生した場合に、本機に内蔵されているブザーを鳴らすかどうかを設定します。ブザーを鳴らし続ける時間はALARM OUTPUTの項目で設定した時間となります。
ON　：ブザーを鳴らします。
OFF　：ブザーを鳴らしません。

⑥アラームが発生した場合、モニターに表示する映像のプリセット番号を設定します。ALARM端子をアラーム入出力およびアラーム復帰入出力端子として使用するとき、この表示になります。なお、この設定は本機にコンビネーションカメラを接続している場合に有効です。
＜設定可能範囲＞1～64（プリセット番号）, ー（割り当てなし）

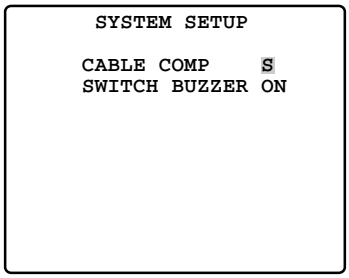
※ *アラーム信号は、外部機器からアラーム復帰信号を入力するか、またはアラーム復帰ボタンを押してアラームを解除するまで出力され続けます。*

⑦この項目にカーソルを移動した後、設定ボタンを押すとALARM TERMINALメニューが表示されます。
ALARM端子をアラーム入力1～4端子として使用する場合、この表示になります。なお、この設定は本機にコンビネーションカメラを接続している場合に有効です。



⑧アラームが発生した場合、モニターに表示する映像のプリセット番号を各アラーム入力ごとに設定します。カメラサイトアラームが発生した場合は、アラーム入力1の設定にしたがって動作します。
＜設定可能範囲＞1～64（プリセット番号）, ー（割り当てなし）
※プリセットアラーム機能があるカメラは、機能をOFFに設定してください。

●SYSTEM SETUPメニュー

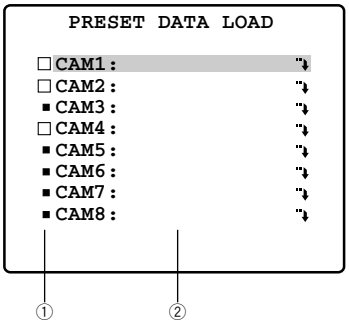


①カメラから送られてくる映像信号のケーブルによる伝送ロスを補償します。
ケーブルの長さや背景の映像の画質に合わせて設定します。
S ：本機←→カメラの距離が500m未満※
M ：本機←→カメラの距離が500～900m※
L ：本機←→カメラの距離が900～1200m※
②本機のボタンを押したとき確認音をならすかどうかを設定します。
ON ：確認音をならします。
OFF ：確認音をならしません。

※ *この値は、5C-2V同軸ケーブルを使用した場合の目安です。*

●PRESET DATA LOADメニュー

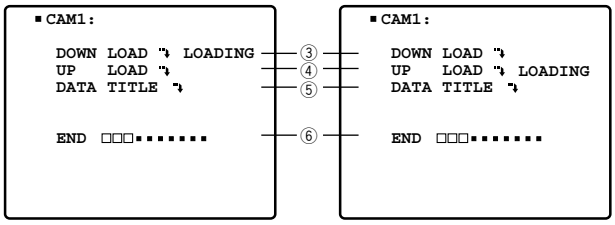
コンビネーションカメラに設定されているプリセットデータを本機にダウンロードまたはダウンロードしたデータをカメラにアップロードします。8台までのコンビネーションカメラのデータを本機にダウンロードできます。操作のしかたの詳細は30～34ページをお読みください。



①ダウンロードしたプリセットデータの有無を表示します。
□：プリセットデータが保存されています。
■：プリセットデータは保存されていません。
②プリセットデータにタイトルが設定されている場合、その情報を表示します。

アップロードまたはダウンロードする項目にカーソルを移動後、

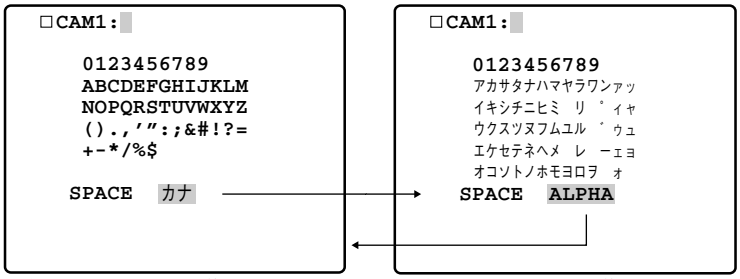
を押すと、ダウンロード／アップロードメニューが表示されます。



③コンビネーションカメラに設定されているプリセットデータを本機にダウンロードします。
ダウンロード中は進行状況の表示⑥とLOADINGの文字が画面に表示されます。
ダウンロードが終了すると進行状況の表示が消え、LOADINGがENDに変わります。プリセットデータが保存されている場所にダウンロードすると、前のデータは上書きされます。
④本機にダウンロードされているデータをカメラにアップロードします。アップロード中は進行状況の表示⑥とLOADINGの文字が画面に表示されます。
アップロードが終了すると進行状況の表示が消え、LOADINGがENDに変わります。
⑤この項目にカーソルを移動後、

を押すと、データタイトル編集メニューが表示されます。

ダウンロードしたプリセットデータにタイトルを設定できます。

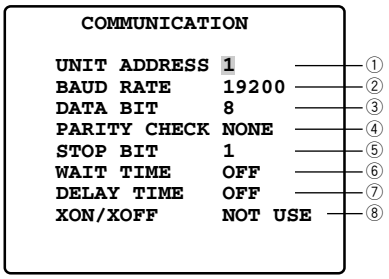


データタイトル編集メニュー
(アルファベット)

データタイトル編集メニュー
(カナ)

●COMMUNICATIONメニュー

このメニューは、本機←→カメラの通信をRS485通信で行う場合、通信方法の詳細を設定します。本機←→カメラの通信を同軸多重で行う場合、この項目は表示されません。



①カメラに設定されているユニットアドレスを設定します。
カメラに設定されているユニットアドレスを確認してから設定してください。ユニットアドレスが異なる場合、カメラを操作することはできません（プリセットデータのダウンロード／アップロードを行うこともできません）。
＜設定可能範囲＞1～96

②通信速度を設定します。
この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。
＜設定可能範囲＞2400，4800，9600，19200（単位：bps）

③データビット長を設定します。
この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。
＜設定可能範囲＞7，8（単位：ビット）

④パリティチェックを設定します。
この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。
NONE ：パリティなし。
EVEN ：偶数パリティに設定します。
ODD ：奇数パリティに設定します。

⑤ストップビットを設定します。
この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。
＜設定可能範囲＞1，2（単位：ビット）

⑥データの待ち時間を設定します。
待ち時間以内にデータが送られてこないと、再送処理を行います。
＜設定可能範囲＞OFF（再送しない），100，200，400，1000（単位：ms）

⑦データを受信してから返信するまでの最低遅延時間を設定します。
＜設定可能範囲＞OFF，20，40，100（単位：ms）

⑧フロー制御をするかどうかを設定します。
NOT USE ：フロー制御なし
USE ：フロー制御あり

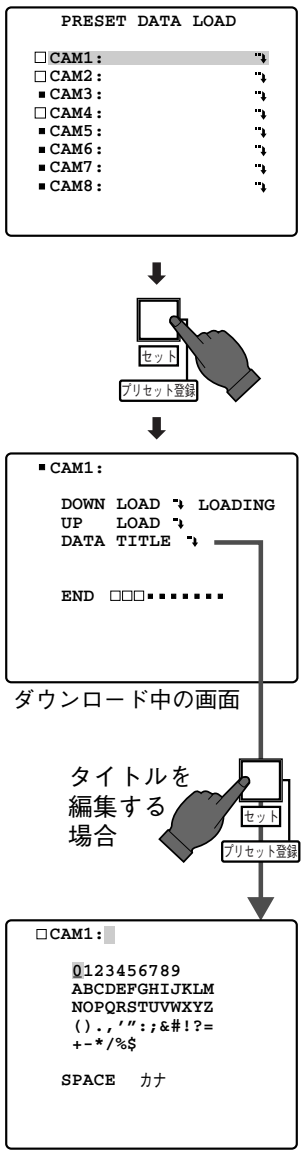
プリセットデータのダウンロード/アップロード

ここでは、コンビネーションカメラに設定されているプリセットデータを本機にダウンロードまたはアップロードする方法について説明します。
プリセットデータのダウンロードまたはアップロードはPRESET DATA LOADメニューで行います。メニューの表示のしかたについて28ページをお読みください。

操作を始める前にお読みください

- プリセットデータのダウンロードまたはアップロードは、WV-CS850など特定のコンビネーションカメラでだけ使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- プリセットデータだけをダウンロードまたはアップロードします。
  プリセット機能以外の設定情報を設定する必要がある場合、カメラ側のSETUP MENUで設定してください。
- 予期せぬ障害に備え、カメラのプリセットデータを本機にダウンロードしておくことをおすすめします。
- 合計8台分のプリセットデータをダウンロードできます。それぞれのプリセットデータにタイトルを付けることができます（最大12文字）。
- 交換したカメラに対してアップロードすると、カメラ映像が交換前の映像とずれることがあります。この場合、カメラのSETUP MENU画面で再設定してください。

ダウンロードのしかた



1 カーソルをダウンロードしたい番号に合わせる（CAM1～CAM8の中から1つ選択）。
合計8台分のプリセットデータを保存できます。

2 セット／プリセット登録 を押す。

ダウンロード／アップロードメニューが表示されます。

3 カーソルをDOWN LOADの項目に合わせ、セット／プリセット登録 を押す。

- 実行中を示す文字（LOADING）の文字が点滅表示されます。
- ダウンロードが正常に終了すると文字（END）が表示されます。
- ダウンロード時間は、カメラ1台あたり約2分です。
- ダウンロードを中止するときはホーム／ESC を押してください（ERROR3が表示されます）。

4 タイトルを編集する。

- カーソルをDATA TITLEに合わせ、セット／プリセット登録 を押します。タイトル編集画面が表示されます。
- タイトルは英字またはカナ文字で最大12文字入力できます。（タイトルの編集のしかた→33, 34ページ）
- タイトルを編集しない場合は5へ進んでください。

5 PRESET DATA LOADメニューに戻る

ホーム／ESC を押します。タイトルを編集した場合は編集した文字が表示されます。

エラーが表示されるときは

- データ通信機能のないカメラに対し、ダウンロードするとエラーになります。
- データ通信機能があるにもかかわらずエラーになるとき
  次の内容を確認してください。確認してもなお異常があるときは、販売店にご相談ください。
  - ・映像ケーブルがしっかりと接続されていますか？
  - ・電源プラグが電源コンセントに接続されていますか？
  - ・RS485通信の場合、本機に接続されているカメラのユニットアドレスがCOMMUNICATION MENUのUNIT ADDRESSに設定されていますか？

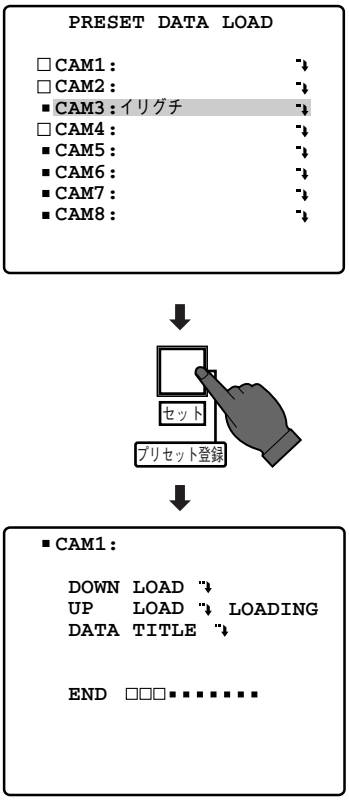
登録されている場所にダウンロードすると

- プリセットデータが保存されている場所にダウンロードすると、前のデータは上書きされます。

次ページへ続く

プリセットデータのダウンロード/アップロード

アップロードのしかた



アップロード中の画面

1 カーソルをアップロードしたい番号に合わせる(CAM1～CAM8の中から1つ選択)。

2 セット／プリセット登録 を押す。

ダウンロード／アップロードメニューが表示されます。

3 カーソルをUP LOADに合わせ、セット／プリセット登録 を押す。

- 実行中を示す文字（LOADING）の文字が点滅表示されます。
- アップロードが正常に終了すると文字（END）が表示されます。
- アップロード時間は、カメラ1台あたり約2分です。
- アップロードを中止するときはホーム／ESC を押してください（ERROR3が表示されます）。

4 PRESET DATA LOADメニューに戻る。

ホーム／ESC を押します。タイトルを編集した場合は編集した文字が表示されます。

エラーが表示されるときは

- データ通信機能のないカメラに対し、アップロードするとエラーになります。
- データ通信機能があるにもかかわらずエラーになるとき
  次の内容を確認してください。確認してもなお異常があるときは、販売店にご相談ください。
  - ・映像ケーブルがしっかりと接続されていますか？
  - ・電源プラグが電源コンセントに接続されていますか？
  - ・RS485通信の場合、本機に接続されているカメラのユニットアドレスがCOMMUNICATION MENUのUNIT ADDRESSに設定されていますか？
  - ・プリセットデータをダウンロードしたときのカメラと、同じ機種のカメラが接続されていますか？
    ダウンロードしたときのカメラとアップロードするカメラとで機種が異なる場合、ERROR1が表示されアップロードできない場合があります。

カメラにアップロードすると

- プリセットデータが設定されているカメラにアップロードすると、カメラに設定されていたプリセットデータは消去されます（アップロードしたデータに置き換えられます）。

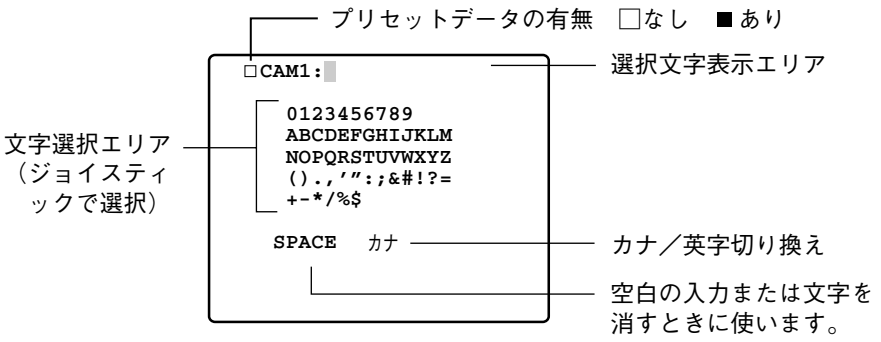
ダウンロード／アップロードのエラー表示

ダウンロードまたはアップロード実行中に障害が発生すると、ローディング処理を中断し、ダウンロード／アップロード画面にエラーコードを表示します。

表示文字	概　要	エラー詳細
ERROR1	機種不一致	アップロード先のカメラと異なる機種のプリセットデータをアップロードしました。
ERROR 2	メモリー不足	メモリーの空き容量より大きいプリセットデータをダウンロードしました。
ERROR 3	その他	上記以外の要因でダウンロード／アップロードができませんでした。

タイトルの編集

●タイトル編集画面

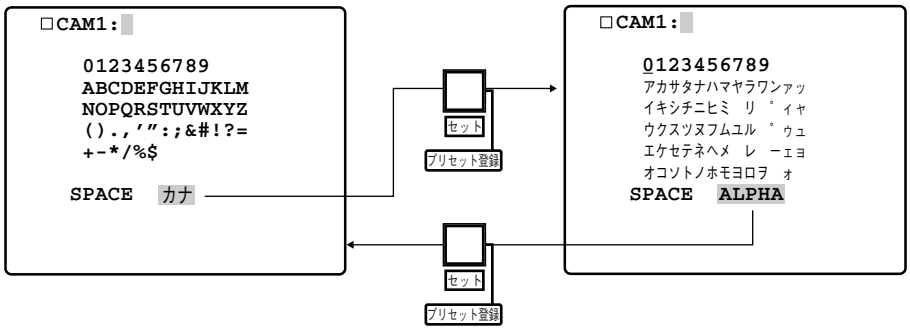


●英字・カナの切り換え

- 英字からカナ文字への切り換え
  カーソルを“カナ”に合わせて、

を押すと、カナ入力に切り換わります。
- カナ文字から英字への切り換え
  カーソルを“ALPHA”に合わせて、

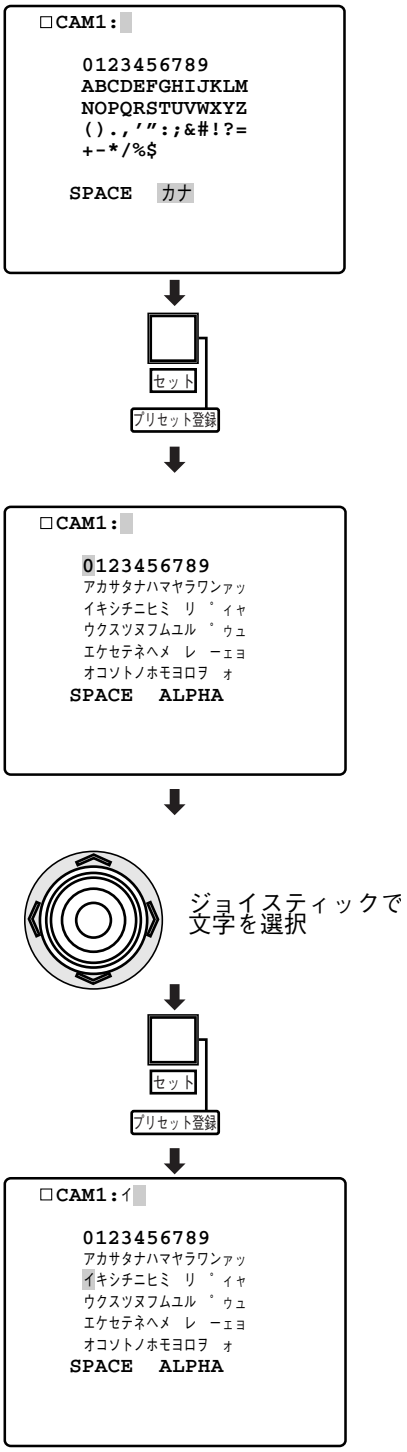
を押すと、英字入力に切り換わります。



次ページへ続く

プリセットデータのダウンロード/アップロード

●文字の入力



1 ジョイスティックで入力したい文字にカーソルを合わせる。

2 セット / プリセット登録 を押す。

選択した文字が選択文字表示エリアに表示されます。

3 **1**と**2**を繰り返し、すべての文字を入力する。

4 プリセットデータメニューに戻る。

設定が終了したら、ホーム / ESC を押します。

選択文字表示エリアに入力した文字を修正するには

- 文字を訂正する場合

①ジョイスティックを上下に動かし、選択文字表示エリアにカーソルを移動します。

②ジョイスティックを左右に動かし、修正する文字にカーソルを移動します。

③ジョイスティックを上下に動かし、文字選択エリアにカーソルを戻し、文字の入力と同様に、カーソルを修正後の文字に合わせ セット / プリセット登録 を押します。

選択した文字に変わります。

- 文字を削除する場合

空白文字を入力して文字を削除します。

①ジョイスティックを上下に動かし、選択文字表示エリアにカーソルを移動します。

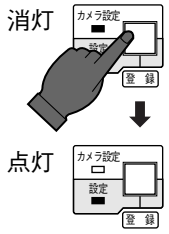
②ジョイスティックを左右に動かし、で削除したい文字にカーソルを合わせます。

③ジョイスティックでカーソルを“SPACE”に合わせ セット / プリセット登録 を押すと、選択した文字が削除され、空白文字（“・”表示）に変わります。

カメラの設定

カメラの設定のしかた

本機からカメラのSETUP MENUをモニターに表示し、設定を行うことができます。




```
   *** SET UP MENU ***
PRESET 1*
 MAP ↴
 HOME POSITION 15
 SELF RETURN   10MIN
 AUTO MODE     AUTO PAN ↴
 AUTO PAN KEY  SEQ
 DIGITAL FLIP  OFF
 LOCAL/REMOTE  LOCAL
 SPECIAL1 ↴
CAMERA ↴
RS485 SET UP ↴
```

カメラセットアップメニュー表示例

1 カメラ設定 設定 登 録 を2秒以上押す。

ボタン名の下にある表示灯が点灯し、カメラのSETUP MENUがモニターに表示されます。
設定のしかたは、カメラの取扱説明書をお読みください。

2 セットアップを終了するときは カメラ設定 設定 登 録 を2秒以上押す。

カメラの設定に使用するボタン

カーソル移動	2 8
設定値の変更	4 6
下層へ移動	セット プリセット登録
上層へ移動	ホーム ESC

注　設定に使用するボタンはカメラによって異なることがあります。設定するカメラの取扱説明書を確認の上操作してください。

操作を行う前に

SHIFT の設定は解除してください。

カメラの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すには

初めにカメラのスペシャルメニューを表示する必要があります。
スペシャルメニューを表示するときはカメラSETUP MENUの“SPECIAL※”にカーソルを移動後、
4 と 6 を同時に2秒以上押し続けてください。

お買い上げ時の状態に戻すときは引き続き、スペシャルメニューの“CAMERA RESET※”にカーソルを移動後、

4 、 5 、 6 の3つのボタンを同時に2秒以上押し続けてください。

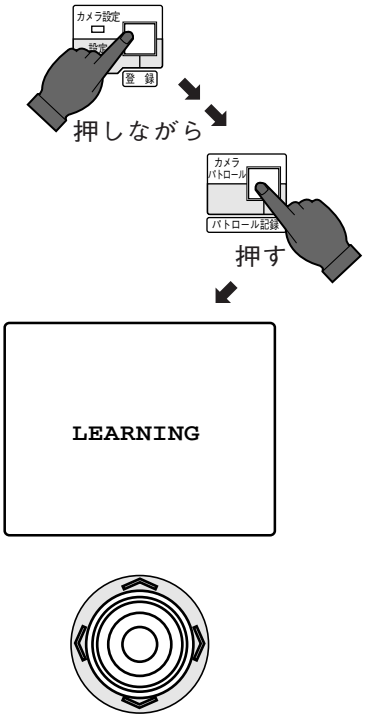
スペシャルメニューから前の画面に戻るときは ホーム ESC を押してください。

※　*カメラによって操作方法やメニューの項目は異なります。カメラの取扱説明書をお読みください。*

次ページへ続く

カメラパトロールの動作の記録

カメラパトロールの動作はカメラのSETUP MENUで設定する方法と、カメラを操作中に設定する方法の2とおりがあります。
ここではカメラを操作中に設定する方法について説明します。この方法は、カメラパトロール機能を持つコンビネーションカメラが接続されているときに使用できます。



操作内容がカメラに記憶される

1 カメラ設定／設定／登 録 を押しながら2秒以内に カメラ／パトロール／パトロール記録 を押す※。

選択されているモニターに文字（LEARNING）が表示され、記憶開始状態になります。

2 ジョイスティックやボタンでコンビネーションカメラを操作する。

操作内容がカメラに記憶されます。最大記録時間は30秒です。

3 記憶を終了するときは カメラ設定／設定／登 録 を押しながら オート／パン／白黒切換／パトロール停止 を押す。

終了すると“LEARNING”の表示が消えます。

記憶できる操作

次の操作をコンビネーションカメラに記憶させることができます。

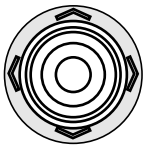
- パン・チルト（ジョイスティック）
- アイリス（開／閉）
- フォーカス（遠／近）
- ズーム（広角／望遠）
- プリセットポジション

記憶させることができる操作はご使用になるカメラによって異なります。カメラの取扱説明書で記憶できる操作を確認の上、操作してください。

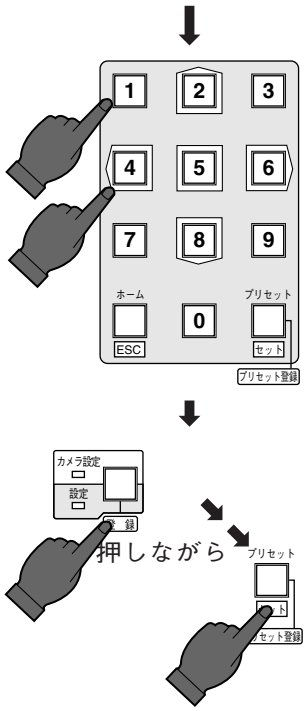
※ カメラ設定／設定／登 録 *を押した後、2秒以内に* カメラ／パトロール／パトロール記録 *を押さないと、カメラまたは本機の設定状態になります。*

プリセットポジションの設定

プリセットポジションはカメラのSETUP MENUで設定する方法と、カメラを操作中に設定する方法の2とおりがあります。
ここではカメラを操作中に設定する方法について説明します。この方法は、カメラ機能の呼び出しに対応したコンビネーションカメラが接続されているときに使用できます。



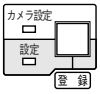
登録したい位置にカメラを旋回し、ズームやアイリスなどを調節する。

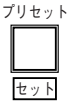


1 ジョイスティックで登録したい位置にカメラを旋回し、ズームやアイリスなどを調節する。

2 テンキーで登録するプリセットポジションの番号を入力する。

既にプリセットポジションが登録されている番号を入力すると上書きされます。

3 

を押しながら約2秒以内に 

を押す。

カメラの位置や調節内容が、入力したプリセットポジション番号の情報としてコンビネーションカメラに登録されます。

プリセットデータとして登録できる内容

次の操作をコンビネーションカメラにプリセットデータとして記憶させることができます。

- パン・チルト（ジョイスティック）
- アイリス（開／閉）
- フォーカス（遠／近）
- ズーム（広角／望遠）

記憶させることができる情報はご使用になるカメラによって異なります。カメラの取扱説明書で記憶できる操作を確認の上、操作してください。

工事説明

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●電源について

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
(1) 電源制御ユニットを介して接続する。
(2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。
(3) 3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

●直射日光の当たる場所には設置しないでください。

高温下での使用は避けてください。

●ていねいにお取り扱いください。

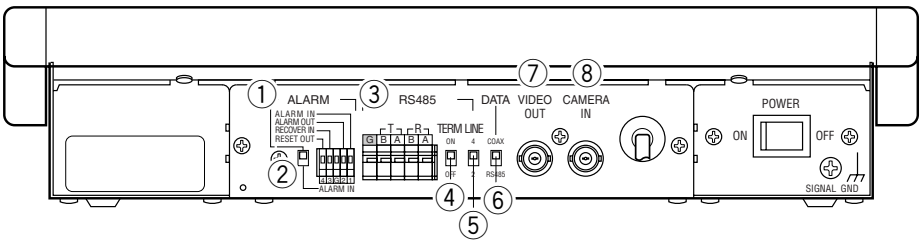
落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲をお守りください。

－10℃以下の寒いところや、＋50 ℃以上の暑いところに設置しないでください。

●厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所には設置しないでください。

各部の名前と働き（後面）



①アラーム端子［ALARM］
アラーム切り換えスイッチで使いかたが異なります。アラーム切り換えスイッチの説明をお読みください。

②アラーム切り換えスイッチ

•上に設定している場合
アラーム入力、アラーム出力、アラーム復帰入力、アラーム復帰出力端子として使用できます。

•下に設定している場合
アラーム1～4入力として使用できます。

③RS485端子［RS485］
RS485通信でカメラを使用する場合に使用します。

④終端スイッチ［TERM］
RS485通信を使用する場合、本機が終端となるときONにします。通常はONの状態でご使用ください。

⑤4線／2線切換スイッチ［LINE］
RS485通信でカメラを使用する場合に使用します。カメラ側の設定と合わせてください。
4 ：4線式（全二重）
2 ：2線式（半二重）

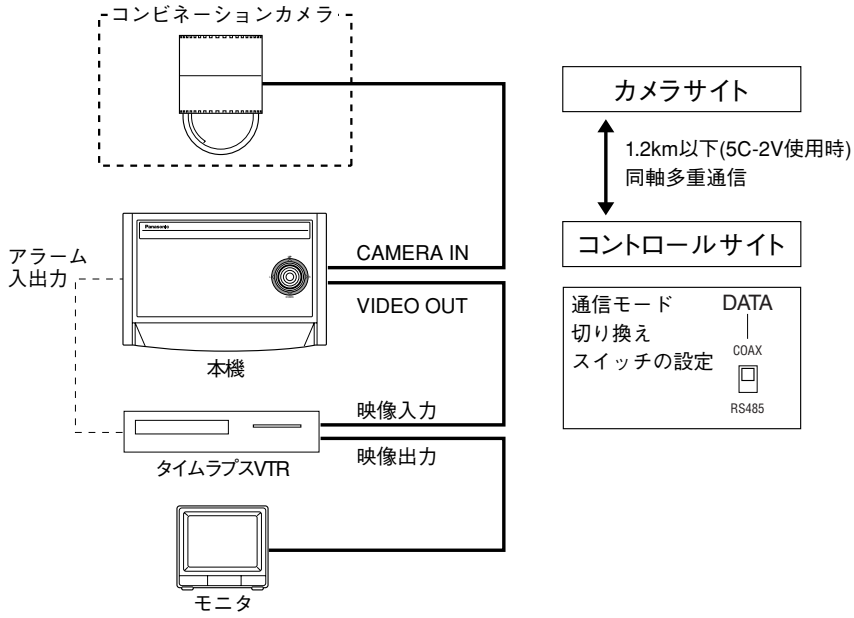
⑥通信モード切り換えスイッチ［DATA］
通信モードを切り換えるときに使います。
COAX ：カメラと同軸多重で通信する場合
RS485 ：カメラとRS485通信で通信する場合

⑦映像出力端子［VIDEO OUT］
他の機器に、CAMERA IN端子に入力した映像を出力するときに使います。

⑧映像入力端子［CAMERA IN］
カメラやレシーバーの映像出力と接続します。

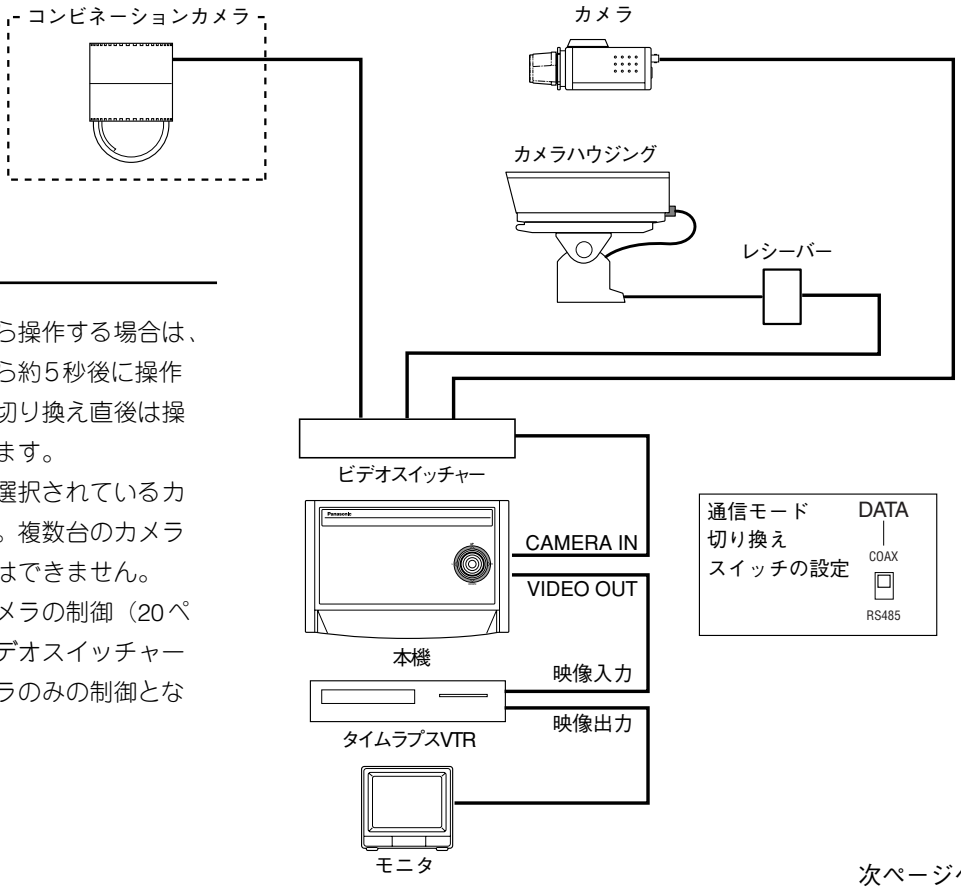
接続のしかた

基本的な接続のしかた



カメラを切り換えて監視する場合

ビデオスイッチャーを使用することによって、複数のカメラを切り換えて操作することができます。

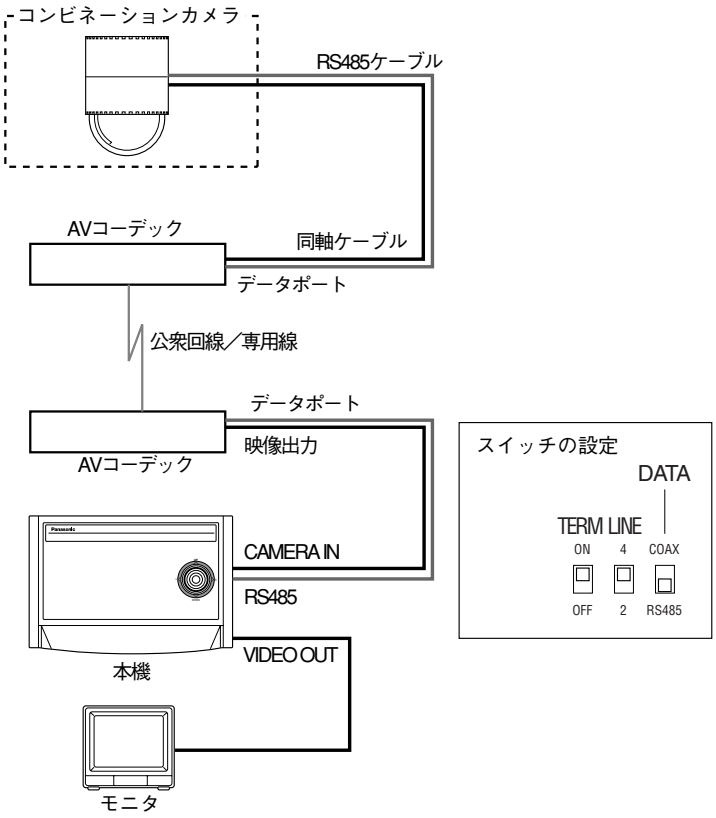


ご注意

- カメラを切り換えながら操作する場合は、カメラを切り換えてから約5秒後に操作してください。カメラ切り換え直後は操作できない場合があります。
- ビデオスイッチャーで選択されているカメラのみ制御できます。複数台のカメラを同時に操作することはできません。
- アラームに連動したカメラの制御（20ページ）についても、ビデオスイッチャーで選択されているカメラのみの制御となります。

次ページへ続く

遠距離通信（1.2km以上の距離）で監視する場合



内部スイッチの設定

本機内部にあるSW1スイッチでアラーム信号の出力形式を選択できます。

1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。

2 底面の取り付けねじ2本を外し、底面カバーを外す。

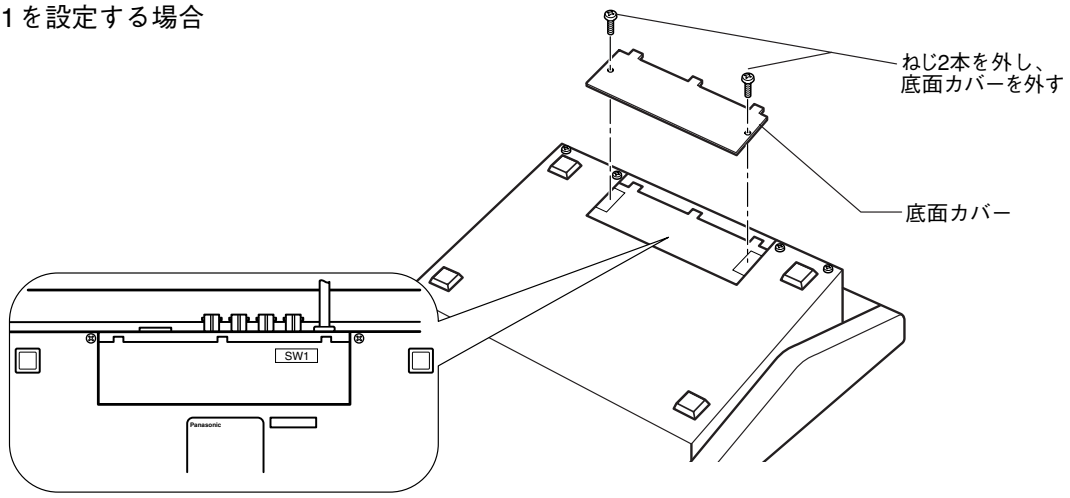
底面カバーの外しかたは次ページの「• SW1を設定する場合」をお読みください。

3 SW1スイッチで、アラーム出力端子から出力するアラーム信号の形式を設定する。

モニターに表示する文字の形式を選択できます

SW100スイッチで、モニターに表示する文字の形式を選択することもできます。SW100スイッチの設定のしかたは、次ページの「• SW100を設定する場合」をお読みください。

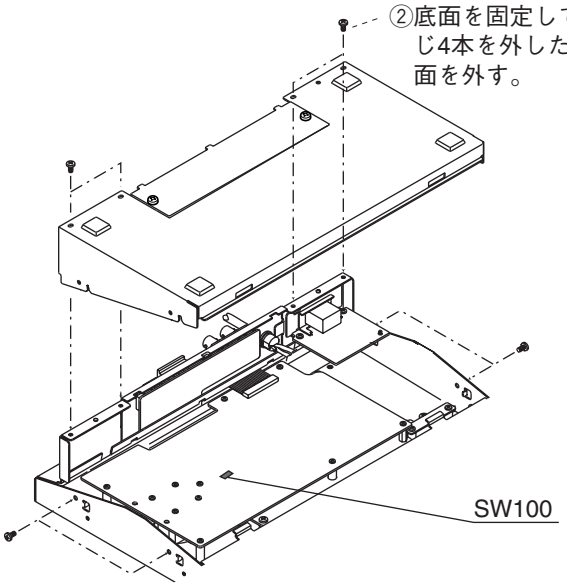
・SW1 を設定する場合



・SW100 を設定する場合

工事の前に電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



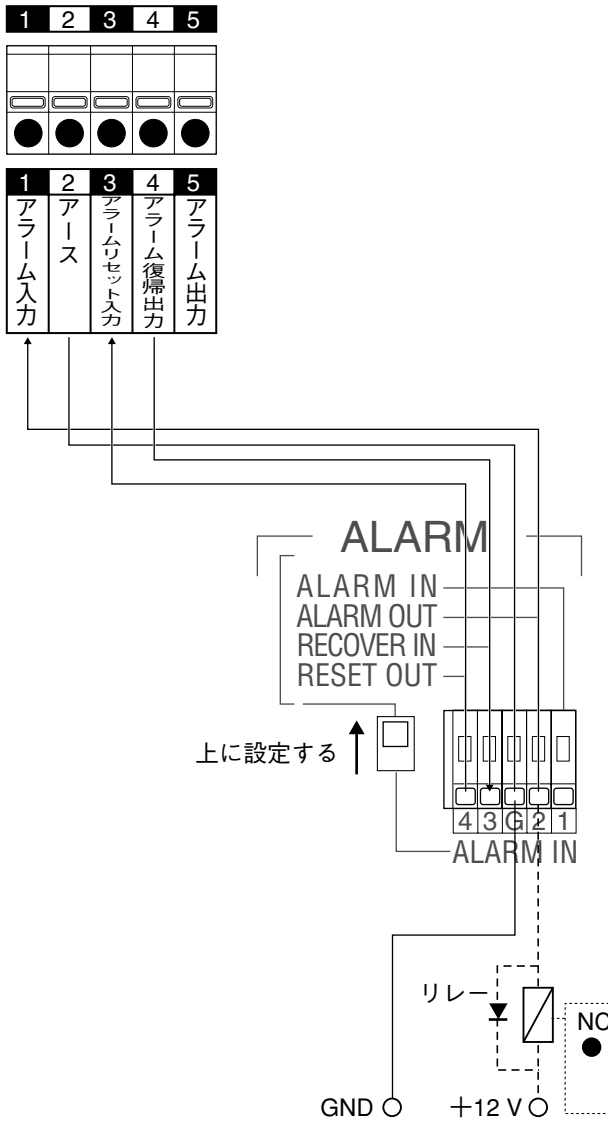
下線 ___ は工場出荷時の値です

スイッチ番号 (図は工場出荷時の設定)	設　定　内　容	設　定　値
SW1 O.C.　0/5V	アラーム端子台から出力するアラーム復帰出力信号の形式を設定 (アラーム信号出力端子→25ページ)	0/5V ：十5 V DC　約500 ms パルス O.C ：オープンコレクタ 最大 16 V DC 100 mA
SW100 NOR　REV	モニターに表示する文字形式を設定	NOR ：白文字黒縁 A REV：黒文字白縁 A
ビット1 SW4 4 On Off	工場調整用です。操作しないでください。	

次ページへ続く

タイムラプスVTRとの接続

本機のアラーム出力は、オープンコレクタ出力です。端子の接点容量は、直流電圧 16 V以下、電流100 mA以下です。必要に応じて、リレーなどを使用してください。



ALARM端子について

- **ALARM OUT**
  アラーム信号が入力されると、タイムラプスVTRにアラーム信号を出力し、タイムラプスVTRをアラーム動作させることができます。
- **GND**
  タイムラプスVTRのアース端子と接続してください。
- **RECOVER IN**
  タイムラプスVTRからの復帰信号を入力します。復帰信号が入力されると、本機のアラーム動作が解除され通常状態に戻ります。
- **RESET OUT**
  タイムラプスVTRのアラーム動作を解除する信号を出力します。

ラックマウントのしかた

お守りください

- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置するときは本機の後部を補強アングル（現地制作）などでラックに固定してください。
- 付属のタッピングねじ（呼び径5×12）は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。
  ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。
- ラックに取り付ける場合、別売りのラック取り付け金具（WV-Q62）をご使用ください。

ラックについて

- 本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。
  スタンダードラック ：WU-RS71（収納ユニット数 29U）
  ロングラック　　：WU-RL76（収納ユニット数 41U）
  EIA規格相当品　　：EIA19型（奥行き450mm以上）

ラックへの取り付けかた

本機の側板を外してラックアングル(付属)を取り付けます。その後、ラックに取り付けます。

ラック取付ねじについて

- 当社製品のラックをご使用になる場合は、ラックマウント金具（WV-Q62）に付属されているねじをご使用ください。
- 他社製品のラックをご使用になる場合は、別売のラック取り付けねじ（W2-MSS/5008またはM5×12）4本が必要となります。

1 本機の電源プラグをコンセントから外す。

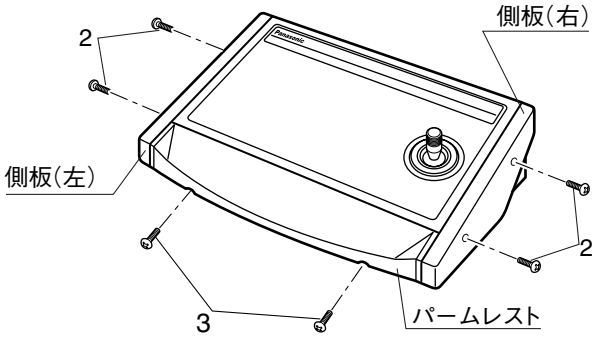
2 ねじ各2本を外し、左右の側板を外す。

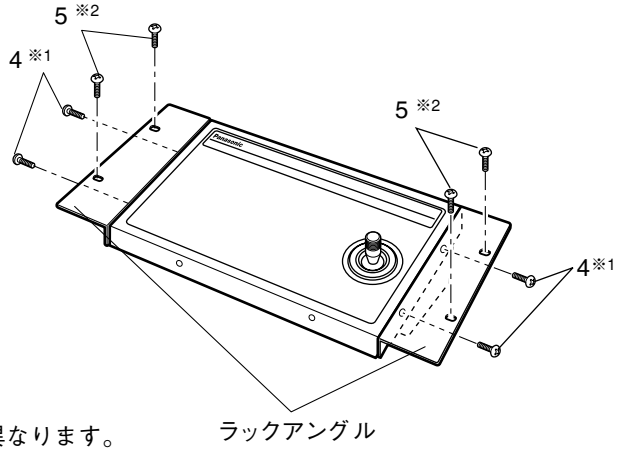
3 ねじ2本を外し、パームレストを外す。

4 WV-Q62付属のねじ4本(2で外したねじ)で左右両側にラックアングルを取り付ける。
ねじがゆるまないよう、しっかりと締め付けてください。

5 本機を取り付けるラックの状態によってコネクターパネルの向きを変える（次ページ）。

6 本機をラック取り付けねじ4本でラックに取り付ける。





※1：ラック取り付け金具WV-Q62付属。
※2：取り付けるラックによって、使用するねじが異なります。
当社ラック使用時：タッピング呼び径5（WV-Q62付属）
他社ラック使用時：別売のラック取り付けねじ（W2ーMSS/5008（別売品）またはM5×12）

次ページへ続く

コネクターパネルの向きの変えかた

1 本機の電源プラグをコンセントから外す

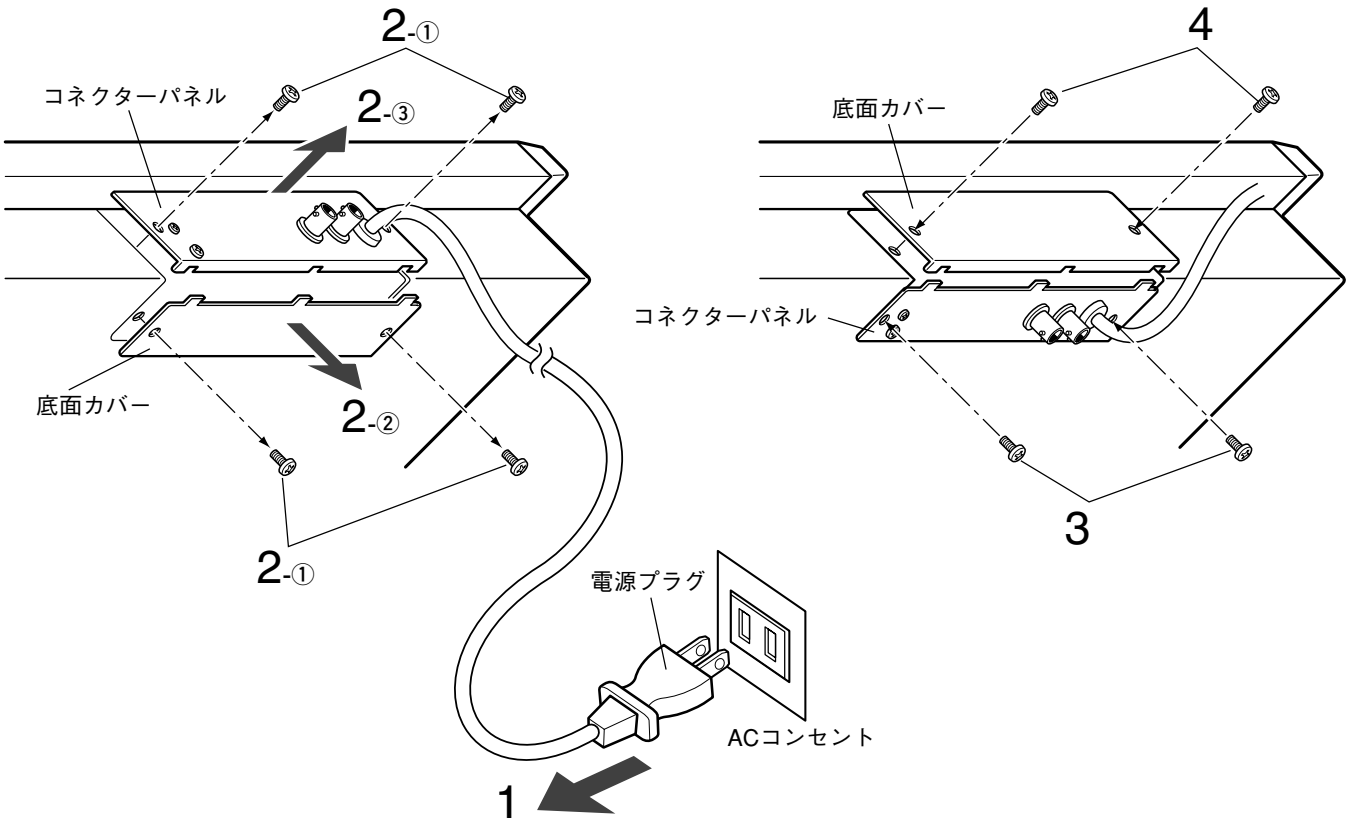
2 ねじ4本を外し※1、コネクターパネルと底面カバーを外す

3 コネクターパネルを底面に取り付ける

底面カバーを固定していたねじ2本で電源ケーブル引廻しに注意してしっかりと固定してください※2。

4 底面カバーを後面に取り付ける

コネクターパネルを固定していたねじ2本でしっかりと固定してください。



※1：コネクターパネル、底面カバーを取り付けるときに使います。紛失しないでください。

※2：コネクターパネルは、内部回路とケーブル類で接続されています。無理な力で引っ張ると、故障の原因となります。

仕　様

• 基本仕様

電　　源	：AC100 V　50 Hz／60 Hz
消費電力	：6 W
周囲温度範囲	：－10 ℃～＋50 ℃
寸　　法	：幅330 mm　高さ74.5mm　奥行き221mm
質　　量	：約2.4 kg
仕 上 げ	：前面パネル：AVアイボリー 塗装鋼板 後面パネル：AVアイボリー 塗装鋼板 底面カバー：AVアイボリー 塗装鋼板

• 入力

カメラ入力	：コンポジット映像信号（制御信号多重）1 V［p-p］／75 Ω
アラーム入力	：無電圧メイク接点
復帰入力	：無電圧メイク接点
アラーム入力（1～4拡張時）	：無電圧メイク接点

• 出力

映像出力	：コンポジット映像信号 1 V［p-p］／75 Ω
アラーム出力	：オープンコレクタ出力 DC16 V, 100 mA以下
復帰出力	：パルス出力5 V約500 ms オープンコレクタ出力DC 16 V, 100 mA以下（内部スイッチ切換）

• データ入出力

RS485相当、4線（全二重）／2線（半二重）切り換え

• レンズ制御

ズーム（望遠／広角）、フォーカス（遠／近／オートフォーカス）、
アイリス（開／閉／リセット）

• 回転台制御

パン・チルト	：速度切り換え可能（回転台による）
オートパン	：入／切

• ハウジング・外部機器制御

ワイパー／デフロスター／外部制御1／外部制御2

次ページへ続く

仕　様

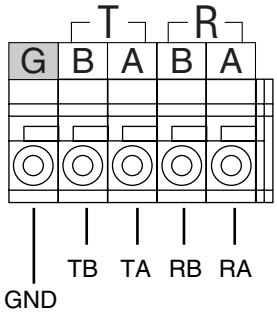
• カメラ制御

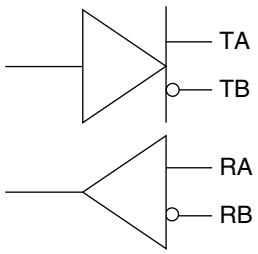
ポジション選択（プリセットポジション、ホームポジション）
カメラパトロール（記録／再生／停止）
電子ズーム、白黒／カラー切り換え、
カメラファンクション、カメラセットアップ、
カメラデータアップロード／ダウンロード（8台分まで可能）

•アラーム

アラームブザー（ON/OFF）
アラームタイトル表示（ON/OFF）
アラーム自動解除／手動解除
アラーム抑止／抑止解除

●データ端子の仕様





保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このシステムコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後７年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	システムコントローラー
品　番	WV-CU161C
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

Panasonic

システムコントローラー　WV-CU161C　取扱説明書

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル　パナハ　ヨイワ
0120-878-410　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WV-CU161C
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社
〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

© Panasonic Corporation 2008

V8QA5894DN
NM0402-3108